

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道4号 伊達拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県伊達郡伊達町字広前 至：福島県伊達郡国見町大字石母田字上野				延長	9.1km
事業概要	<p>国道4号は東京都中央区と青森県青森市を結び、広域交流の支援並びに沿線市町村の連携強化を図る幹線道路である。伊達拡幅は、伊達、桑折、国見町内の国道4号の交通混雑緩和及び交通安全の確保、物流効率化、地域間交流の促進を目的としている。当道路の整備により、渋滞交差点（上郡合流部）の交通混雑の緩和と福島県北地域の交流促進が図られ、地域の活性化に大きく寄与するものである。</p>					
S56年度事業化	S56年度都市計画決定	S57年度用地着手	S61年度工事着手			
全体事業費	約180億円	事業進捗率	54%	供用済延長	3.6km	
計画交通量	35,300台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.8 B/C (残事業) 4.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 83/249 億円 事業費：60/211億円 維持管理費：23/38億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 336/708億円 走行時間短縮便益：288/616億円 走行費用減少便益：39/79億円 交通事故減少便益：9/13億円	基準年：平成16年		
感度分析の結果	残事業・事業全体について感度分析を実施					
【事業全体】	交通量変動：B/C=3.1(交通量+10%) B/C=2.6(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.8(事業費+10%) B/C=2.9(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=2.6(事業期間+20%) B/C=3.1(事業期間-20%)		【残事業】 交通量変動：B/C=4.4(交通量+10%) B/C=3.7(交通量-10%) 事業費変動：B/C=3.8(事業費+10%) B/C=4.4(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=3.8(事業期間+20%) B/C=4.3(事業期間-20%)			
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。） 物流効率化の支援（農林業を主体とする地域において農産物の物流の利便性が向上） <p style="text-align: right;">他16項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	福島県、福島県伊達郡地方町村議会、仙南・伊達国道4号整備促進協議会、あぶくま川西三町商工会青年部連合会から、「一般国道4号伊達拡幅の整備促進について」要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	【執行済み額】 事業費：98億円(進捗率54%) うち用地費：50億円(進捗率54%)					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地補償協議で時間を要しているが未買収用地の取得の推進を図り、平成18年度に（県）保原伊達崎桑折線～（町）石橋線間（L=0.7km）の完成4車線供用を目標に事業推進を図る。					
施設の構造や工法の変更等	材料単価が経済的な、再生材の活用を図る。（再生アスファルト合材等）					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。